

## Model UR-2 取扱説明書

### <バージョン 1.10 対応 追補版>

本機のソフトウェアをV1.10にバージョンアップし、下記機能の拡張や変更が行われています。本機をご使用いただく際には、取扱説明書・本文と併せてこの追補版をお読みください。

MP3 モードの記録 / 再生が可能になりました。

記録モードに、RelayモードとLoopモードを追加しました。

シームレスな連続記録が可能になりました。

ファイル・コピーの操作手順が変更になりました。

本機自身で記録用フォルダーをストレージ上に作成可能になりました。

チェンプレイ・リストのセーブ / ロード機能を追加しました。

チェンプレイ・リストの設定時における、デジタル・スクラブ機能を拡張しました。

本体キーでの文字編集機能を拡張しました。

RS232C コマンドを拡張 / 追加しました。

# 目次

MP3モードの記録 / 再生が可能.....	3
記録モードの拡張.....	4
記録用フォルダーの作成が可能.....	5
新規にフォルダーを作成する.....	5
任意のフォルダーを選択する.....	5
フォルダー・ネームを編集する.....	6
ファイル・コピーの手順変更.....	7
チェンプレイ・リストのセーブ / ロード機能を追加.....	8
チェンプレイ・リストのセーブ.....	8
チェンプレイ・リストのロード.....	9
拡張されたその他の機能.....	10
チェンプレイ・リスト設定時における、デジタル・スクラブ機能を拡張.....	10
ネーム入力時における、本体キーでのバックスペース / スペースインサート機能.....	10
RS232Cコマンドを追加.....	11

## MP3 モードの記録 / 再生が可能

バージョンアップにより、MP3（圧縮モード）での記録 / 再生が可能になりました。  
新たに追加したMP3モードには下記4つのタイプがあり、記録時にMENUモードの“SYSTEM SETUP”にある“Record FS/bit”メニューで選択します。

### MP3 (MPEG Layer-3) について

本製品の供給は、収益を発生する放送システム（地上波、衛星放送、ケーブルおよび/もしくはその他の配信チャンネル）ストリーミングアプリケーション（インターネット、イントラネット、および/もしくはその他のネットワーク経由で）、その他のコンテンツ配信システム（ペイオーディオまたはオーディオオンデマンドアプリケーションなど）または物理的媒体（コンパクトディスク、デジタル汎用ディスク、半導体チップ、ハードドライブ、メモリーカードなど）で、本製品で創作されたコンテンツを配信するライセンスを与えるものではありませんし、同コンテンツを配信する権利を暗示するものでもありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、“<http://mp3licensing.com>.” にアクセスしてください。

\* MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。

<バージョンアップ前>		<バージョンアップ後>	
44K16 (44.1kHz/16bit): 初期設定		44K16 (44.1kHz/16bit): 初期設定	
48K16 (48kHz/16bit)		48K16 (48kHz/16bit)	
44K24 (44.1kHz/24bit)		44K24 (44.1kHz/24bit)	
48K24 (48kHz/24bit)		48K24 (48kHz/24bit)	
88K24 (88.2kHz/24bit)		88K24 (88.2kHz/24bit)	
96K24 (96kHz/24bit)		96K24 (96kHz/24bit)	
		<b>MP3-LP (44.1kHz/64kbps): 新規に追加</b>	
		<b>MP3-SQ (44.1kHz/128kbps): 新規に追加</b>	
		<b>MP3-MQ (44.1kHz/192kbps): 新規に追加</b>	
		<b>MP3-HQ (44.1kHz/256kbps): 新規に追加</b>	

\* MENUモードの“SYSTEM SETUP”にある“Record FS/bit”メニューについては、マニュアル本文の74ページを参照してください。

< Memo > : MP3モードで記録したファイルのファイル・ネームには、拡張子“.mp3”が付加されます。

< 注意 > : MP3モードで記録したファイルは、MEMORYプレイ・モードの実行に必要なプレイ・リストには選択できません。そのため、MP3モードで記録したファイルをMEMORYプレイ・モードで再生することはできませんのでご注意ください。「MEMORYプレイ・モードの再生」については、取扱説明書・本文の45ページを参照してください。

## 記録モードの拡張

本機の記録モード（バージョン・アップ前では“Normal”モードのみ）に“Relay”モードと“Loop”モードを追加し、用途に合わせて選択することができます。

<b>Normal モード</b> (初期設定)	現在記録しているカレント・ストレージの「空き容量」が無くなった時点で記録を停止します。
<b>Relay モード</b> (新規に追加)	カレント・ストレージの「空き容量」が無くなった時点で、つぎのストレージへ連続して記録するモードです。このモードでは、あくまでもつぎに記録するストレージに空き容量がある場合にのみ有効で、最後に記録するストレージの空き容量が無くなった時点で記録を停止します。<注意> :SD-1とSD-2のSDカードがマウントされていることで機能し、USBメモリーは使用できません。なお、つぎに記録するストレージにはBFFFフォルダーのみが作成されます。
<b>Loop モード</b> (新規に追加)	上記“Relayモード”と同様、カレント・ストレージの「空き容量」が無くなった時点でつぎのストレージへ連続して記録するモードですが、つぎに記録するストレージのデータを消去しながら記録を続けます。つまり、複数のストレージがマウントされている状態では、強制的に停止させるまで半永久的に記録を続けます。<注意> :SD-1とSD-2のSDカードがマウントされていることで機能し、USBメモリーは使用できません。なお、つぎに記録するストレージにはBFFFフォルダーのみが作成されます。

<注意> :バージョンアップにより、MENUモードの“SYSTEM SETUP”メニューにある“Max file length”で設定されている「ファイルの最大記録容量(2Gまたは4G)」まで記録すると、新たなファイルを自動的に作成してシームレスに連続記録するようになりました(バージョンアップ前では最大記録容量まで記録すると、停止していました)ただし、この機能は最大記録容量(2Gまたは4G)以上の記録領域を有したストレージを使うときのみ有効で、最大記録容量以下のストレージでは空き容量が無くなった時点で停止します(Relayモード/Loopモードは除く)。なお、MP3モードでの記録時は、タイム表示が100時間に達する時点で新たなファイルを作成して記録を継続します。

<注意> :高FS/高bitで“Relayモード”または“Loopモード”の記録時、つぎのストレージに切り換わった際先頭部分の記録がミュートされる場合があります。つまり、ストレージとストレージ間の音声が一瞬途切れてしまうことがあります。

- (1) 停止状態で[ENTER]キーを押してMENUモードへ入ります。初めてMENUモードへ入ると下記画面を表示します。

```

MENU>
SYSTEM SETUP
PLAY SETUP
STORAGE UTILITY
FILE SEL
STORAGE SEL
MIC IN SETUP
    
```

- (2) “SYSTEM SETUP”が反転している状態で[ENTER]キーを押します。SYSTEM SETUPメニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。

```

M>SYS>
Default file name>
Select input:Analog
Record FS/bit:44k/16
Record CH. :Stereo
Record mode :Normal
MAX. file length:4G
    
```

- (3) [MENU]ダイヤルで“Record mode”を選択して[ENTER]キーを押します。現在設定されている記録モードが点滅します(初期設定では“Normal”が点滅します)。

```

M>SYS>
Default file name>
Select input:Analog
Record FS/bit:48K/16
Record CH. :Stereo
Record mode :Normal
MAX. file length:4G
    
```

```

M>SYS>Record Mode
Default file name>
Select input:Analog
Record FS/bit:48K/16
Record CH. :Stereo
Record mode :Normal
MAX. file length:4G
    
```

点滅

- (4) [MENU]ダイヤルで希望の“記録モード”を選択した後、[ENTER]キーを押して確定します。初期設定の“Normal”以外に、“Relay”または“Loop”が選択できます。
- (5) [EXIT]キーを押していくか[STOP]キーを押して、MENUモードから抜け出します。

<Memo> : “Relayモード”または“Loopモード”に設定して記録を開始すると、記録中を示す動作アイコンは下記のように表示されます。

< Normalモードでの記録中 >

```

12h34m56F
A001 ABCDEFGHIJKLMNQP
BWF 48/24 ANA (M)-00.0dB
    
```

< Relayモードでの記録中 >

```

12h34m56F
A001 ABCDEFGHIJKLMNQP
BWF 48/24 ANA (M)-00.0dB
    
```

< Loopモードでの記録中 >

```

12h34m56F
A001 ABCDEFGHIJKLMNQP
BWF 48/24 ANA (M)-00.0dB
    
```

## UR-2 本体で記録用フォルダーの作成が可能

未記録のストレージに初めて記録すると自動的に“BWFF”フォルダーが作成され、記録したオーディオ・ファイルはその“BWFF”フォルダー内に格納されていましたが、バージョンアップにより記録したオーディオ・ファイルを格納するフォルダーをUR-2本体で任意に作成することが可能になりました。また、作成するフォルダーにはオリジナルのフォルダー・ネームも付けられ、フォルダー作成後でも編集が可能です。

フォルダーの作成およびフォルダー・ネームの編集は、MENUモードの“STORAGE UTILITY”メニューに追加した“Make folder”メニューおよび“Edit folder name”メニューで実行できます（下記操作方法を参照してください）。

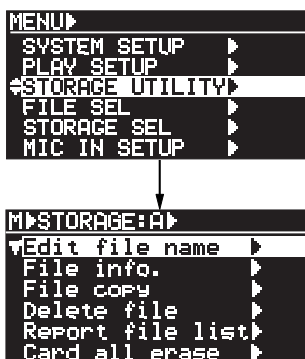
### 新規にフォルダーを作成する

下記操作は、カレント・ストレージ（SD-1）に記録済みの“BWFF”フォルダーが作成され、そのフォルダーに記録されているオーディオ・ファイルが立ち上がっていることを前提にしています。

- (1) 停止状態で [ENTER] キーを押してMENUモードへ入ります。初めて MENU モードへ入ると下記画面を表示します。



- (2) [MENU] ダイアルで“STORAGE UTILITY”を選択して [ENTER] キーを押します。“STORAGE UTILITY”メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。



- (3) [MENU] ダイアルで新たに追加した“Make folder”を選択して [ENTER] キーを押します。新たに作成するフォルダーのフォルダー・ネームを入力する画面に変わります。



カーソル点滅

- (4) 下記操作例を参照して、フォルダー・ネームを入力します。

最大 14 文字まで入力が可能です。

#### カーソルを左右に移動する

[◀◀] キー / [▶▶] キーを押します。

#### 文字 / 記号などを入力する

カーソル位置で [MENU] ダイアルを操作します。

#### カーソルの左の文字を消去する

[SHIFT] キーを押しながら [◀◀] キーを押します。

#### カーソルの位置にスペースをインサートする

[SHIFT] キーを押しながら [▶▶] キーを押します。

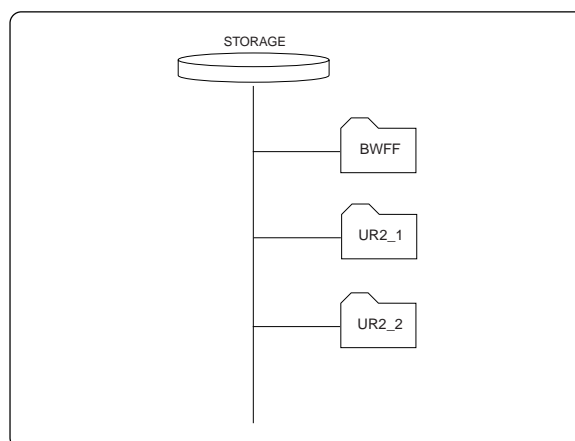
**<Memo>**：フォルダー・ネームを任意に編集せず、初期設定のまま作成することが可能です。なお、フォルダー作成後にネームを編集するには、次項の「フォルダー・ネームの編集」を参照してください。

- (5) 入力終了後 [ENTER] キーを押します。入力したフォルダー・ネームが確定し、MENUモードに入る前のHome画面に変わります。

### 任意のフォルダーを選択する

カレント・ストレージに作成した複数のフォルダー（PC側で作成したフォルダーも含む）から、記録 / 再生するフォルダーを選択します。

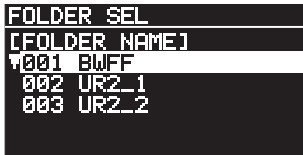
ここからの操作は、下の図のようにカレント・ストレージに“BWFF”フォルダー以外に、“UR2\_1”フォルダーと“UR2\_2”フォルダー（いずれも仮名）が作成されていることを前提にしています。



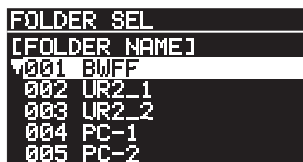
- (1) **[SHIFT]** キーを押して SHIFT モードを ON にした後、**[FILE SEL/STRG SEL]** キーを押します。  
 ストレージの選択画面に変わります。  
 下記画面は、現在カレント・ストレージとして “SD-1” スロットに SD カードのみがセットされている例です。



- (2) 引き続き **[ENTER]** キーを押します。  
 SD-1 に作成されているフォルダーの選択画面に変わります。

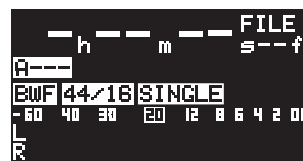


**<Memo>** : 上記フォルダーの選択画面例では、“001 BWFF” が初めて記録したとき作成される BWFF フォルダーで、“002 UR2\_1” と “003 UR2\_2” が新規に作成したフォルダーを示しています。  
 なお、本機以外に PC 上で作成したフォルダー (“004 PC-1” と “005 PC-2”) が存在する場合には、下記例のようにすべてのフォルダーが表示されます。



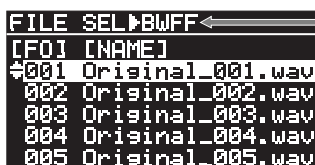
- (3) **[MENU]** ダイアルで希望のフォルダーを選択して、**[ENTER]** キーを押します。  
 選択したフォルダーに一番最初に格納されたオーディオ・ファイルの Home 画面に変わります。

**<注意>** : 選択したフォルダー内にオーディオ・ファイルが存在しない場合は、下記例の画面を表示します。



**<Memo>** : 複数のストレージが本機にマウントされている状態で、カレント・ストレージ以外のストレージにあるフォルダーを選択する場合も、前述の操作(1)~(3)と同様の操作を行ってください。  
 なお、任意のファイル・ネームを編集したり削除する場合も、フォルダーの選択が必要です。

**<Memo>** : 現在どのフォルダーが選択されているか確認するには、ファイルの Home 画面を表示している状態で **[FILE SEL]** キーを押してください。



現在 BWFF フォルダーが選択されていることを示しています。

## フォルダー・ネームを編集する

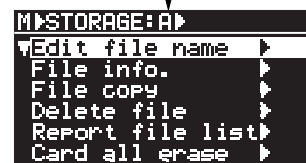
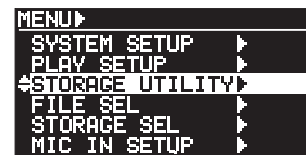
既存のフォルダー・ネームを編集して、再登録します。

**<注意>** : フォルダー・ネームの編集は、カレント・ストレージ内であらかじめ選択されたフォルダーのみ可能です。  
 事前に編集するカレント・ストレージとフォルダーを選択してから下記操作を行ってください。  
 なお、本機以外に PC 上でもフォルダー・ネームは編集が可能です。

- (1) 停止状態で **[ENTER]** キーを押して MENU モードへ入ります。  
 初めて MENU モードへ入ると下記画面を表示します。



- (2) **[MENU]** ダイアルで “STORAGE UTILITY” を選択して **[ENTER]** キーを押します。  
 “STORAGE UTILITY” メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。



- (3) **[MENU]** ダイアルで新たに追加した “Edit folder name” を選択して **[ENTER]** キーを押します。  
 カレント・フォルダーのフォルダー・ネームを入力する画面に変わります。



カーソル点滅

- (4) 任意のフォルダー・ネームに編集します。  
 前述 4 ページの入力方法を参照してください。
- (5) 入力終了後 **[ENTER]** キーを押します。  
 入力したフォルダー・ネームが確定し、MENU モードに入る前の Home 画面に変わります。

## ファイル・コピーの手順変更

前述の「フォルダーの作成機能」追加に伴い、他のストレージへファイル単位でコピーする「ファイル・コピー」の手順を一部変更しました。バージョンアップ前の操作方法是取扱説明書・本文の84ページに記載されていますが、バージョンアップ後のUR-2を使って「ファイル・コピー」を実行する場合は下記操作手順を参照してください。

なお、下記操作手順は例として、カレント・ストレージSD-1のSDカードからUSBメモリーへコピーすることを前提としています。

**<注意>**：カレント・ストレージ内に複数のフォルダーが作成されている場合は、前述の「任意のフォルダーを選択する」であらかじめコピーしたいファイルが格納されているフォルダーを選択してください。

- (1) 停止状態で[ENTER]キーを押してMENUモードへ入ります。初めてMENUモードへ入ると下記画面を表示します。

```
MENU▶
SYSTEM SETUP ▶
PLAY SETUP ▶
STORAGE UTILITY▶
FILE SEL ▶
STORAGE SEL ▶
MIC IN SETUP ▶
```

- (2) [MENU]ダイヤルで“STORAGE UTILITY”を選択して[ENTER]キーを押します。“STORAGE UTILITY”メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。

```
MENU▶
SYSTEM SETUP ▶
PLAY SETUP ▶
STORAGE UTILITY▶
FILE SEL ▶
STORAGE SEL ▶
MIC IN SETUP ▶

M▶STORAGE: A▶
Edit file name ▶
File info. ▶
File copy ▶
Delete file ▶
Report file list▶
Card all erase ▶
```

- (3) [MENU]ダイヤルで“File copy”を選択して、[ENTER]キーを押します。カレント・ストレージであらかじめ選択したフォルダー内に記録されている、ファイルの一覧表示に変わります。

```
M▶STORAGE: A▶
Edit file name ▶
File info. ▶
File copy ▶
Delete file ▶
Report file list▶
Card all erase ▶

M▶STMF COPY▶SD1>>>SD2
[FN] [NAME]
▼All Select▶
001 SCENE_001.wav
002 SCENE_002.wav
003 SCENE_003.wav
004 SCENE_004.wav
```

- (4) [MENU]ダイヤルでコピーしたいファイルを選択して、[ENTER]キーを押します。選択したファイルの先頭にチェック・マークが付加されず。複数のファイルにチェック・マークを付加するには、同様の操作を繰り返します。

**<Memo>**：[◀◀]キー / [▶▶]キーを押すと、リストの先頭行または最終行へカーソルが移動します。

**<Memo>**：ファイル一覧の先頭にある“<All Select>”を選択して[ENTER]キーを押すと、すべてのファイルにチェック・マークが付加されて下記画面に変わります。

```
M▶STMF COPY▶SD1>>>SD2
[FN] [NAME]
▼All Select▶
001 SCENE_001.wav
002 SCENE_002.wav
003 SCENE_003.wav
004 SCENE_004.wav
```

```
M▶STMF COPY▶SD1>>>SD2
[FN] [NAME]
▼006 SCENE_006.wav
▼007 SCENE_007.wav
▼008 SCENE_008.wav
Destination :SD2
[EXECUTE]:
```

**<注意>**：コピー元のストレージに作成されているチェーン・プレイリストのファイル(CHAINLIST.CSV)やタイマー・プレイリストのファイル(TIMERLIST.CSV)もコピーする場合は、“<All Select>”の選択をお勧めします。

- (5) [MENU]ダイヤルで“Destination”を選択して、[ENTER]キーを押します。コピー先のストレージを選択する画面に変わります。

```
M▶STMF COPY▶SD1>>>SD2
[FN] [NAME]
▼006 SCENE_006.wav
▼007 SCENE_007.wav
▼008 SCENE_008.wav
Destination :SD2
[EXECUTE]:
```

```
M▶STMF COPY▶SD1>>>SD2
[FN] [NAME]
▼006 SCENE_006.wav
▼007 SCENE_007.wav
▼008 SCENE_008.wav
Destination :SD2
[EXECUTE]:
```

- (6) [MENU]ダイヤルでコピー先のストレージに“USB”を選択して、[ENTER]キーを押します。

```
M▶STMF COPY▶SD1>>>SD2
[FN] [NAME]
▼006 SCENE_006.wav
▼007 SCENE_007.wav
▼008 SCENE_008.wav
Destination :USB
[EXECUTE]:
```

```
M▶STMF COPY▶SD1>>>USB
[FN] [NAME]
▼006 SCENE_006.wav
▼007 SCENE_007.wav
▼008 SCENE_008.wav
Destination :USB
[EXECUTE]:
```

<注意> : コピー先のストレージを選択したとき、コピー先のストレージに空き容量が不足していると下記ポップアップ画面が表示され、選択できないことを警告します。

```
Error!
Destinaton
Over copy size
```

- (7) [MENU] ダイアルで“ [EXECUTE] ” を選択して、[ENTER] キーを押します。  
コピー先のストレージに作成されているフォルダーの選択画面に変わります。この画面がバージョンアップにより追加されたため、説明書・本文の記載と異なっています。

```
M>ST&F COPY>SD1>>>USB
-- Folder select --
001 BWFF
002 UR-1
003 UR-2
004 UR-3
```

<注意> : コピー先のストレージに一つのフォルダーしか存在しなくても、上記同様フォルダーの選択画面を表示します。

- (8) [MENU] ダイアルでコピー先のフォルダーを選択して、[ENTER] キーを押します。  
SD1のSDカードからUSBメモリーへコピーを開始します。コピーが終了すると、下記ポップアップ画面を表示してアクセスも停止します。

```
M>ST&F COPY
SD1 >>>> USB
Finish time : 12M05S
Remain size : 345MB
0 50 100%
```

```
M>ST&F COPY
ent \\\\ ucb
Completed!
Pls hit any keys
```

- (9) いずれかのキーを押して、MENUモードから抜け出します。

## チェーンプレイ・リストのセーブ/ロード機能を追加

MENUモードにある“CHAIN PLAY SET”メニューで設定する、「チェーンプレイ・リスト」のセーブ/ロード機能を追加しました。これにより、一つのフォルダー内に複数のチェーンプレイ・リストが保存でき、用途に合わせたプレイ・リストを呼び出すことが可能になります。

### チェーンプレイ・リストのセーブ

下記操作は、“CHAIN PLAY SET”メニューにおいて既にチェーンプレイ・リスト（リストのファイル名：CHAINLIST.CSV）が設定され、そのリスト・ファイルをセーブすることを前提にしています。なお、チェーンプレイ・リストの設定については、取扱説明書・本文の46ページを参照してください。

<注意> : MENUモードの“CHAIN PLAY SET”メニューで設定するチェーンプレイ・リストは、新たなプレイ・リストを作成することに「上書き」されます。そのため、現在オープンしているフォルダー内に複数の異なるプレイ・リストを保存するには、“CHAIN PLAY SET”メニューでプレイ・リストを書き換えた後“CHAIN LIST SAVE”を実行し、先にセーブしたプレイ・リストと違うファイル・ネームでセーブしてください。

- (1) 停止状態で[ENTER] キーを押してMENUモードへ入ります。初めてMENUモードへ入ると下記画面を表示します。

```
MENU>
SYSTEM SETUP >
PLAY SETUP >
STORAGE UTILITY >
FILE SEL >
STORAGE SEL >
MIC IN SETUP >
```

- (2) [MENU] ダイアルで“CHAIN LIST SAVE”を選択して[ENTER] キーを押します。  
現在設定されているチェーンプレイ・リストのファイル・ネームが編集可能な画面に変わります。

```
MENU>
STORAGE SEL >
MIC IN SETUP >
CHAIN PLAY SET >
CHAIN LIST LOAD >
CHAIN LIST SAVE >
TIMER PLAY SET >
```

```
MENU>LIST SAVE
Please hit file name
CHAINLIST.CSV copy to
CHAINLIST[ ]].
CSV
```

カーソル  
点滅

- (3) ファイル・ネームを入力します。  
カーソル位置で[MENU] ダイアルを回して文字/記号を入力し、[◀] キー / [▶] キーでカーソルを移動します。  
[SHIFT] キーを押しながら [◀] キー / [▶] キーを押すと、カーソル手前の文字を削除したり、カーソルの後にスペースが作成できます。  
ここでは例として、[ ] 内に“Chime1”を入力します。

```
MENU>LIST SAVE
Please hit file name
CHAINLIST.CSV copy to
CHAINLIST[Chime1] ].
CSV
```

カーソル  
点滅



- (4) ネームの入力後、[ENTER] キーを押します。  
保存を実行する画面に変わります。

```
MENU▶LIST SAVE
Please hit file name
CHAINLIST.CSV copy to
CHAINLIST[Chime1 ].
CSV
```

```
MENU▶LIST SAVE
CHAINLIST[Chime1 ].
CSV
Are you sure?
EXECUTE EXIT
```

<注意>:入力したネームをやり直したいときは、上記“EXIT”が反転している状態で[ENTER]キーを押してください。一つ前の画面に戻りやり直せます。

- (5) [MENU] ダイアル、または [◀◀] キーを使って、“EXECUTE”を反転させた後[ENTER]キーを押します。一瞬“COMPLETED!”が点灯してセーブが完了し、MENUモードに入る前のHome画面に変わります。

```
MENU▶LIST SAVE
CHAINLIST[Chime1 ].
CSV
Are you sure?
EXECUTE EXIT
```

```
0h00m00 FILE
s00f
0001 Original_001.wav
BWF 48/24 SINGLE
-60 40 30 ED 12 8 6 4 2 DP
L
```

<注意>:既に同じネームのファイルがセーブされているときは、[ENTER]キーを押すと下記画面が表示されます。上書きしてセーブするには“EXECUTE”を反転させた後[ENTER]キーを押してください。また、上書きしたくないときは“EXIT”が反転している状態で[ENTER]キーを押した後、ネームを変更して再度セーブを実行してください。

```
MENU▶LIST SAVE
Same name already
exist.(Over write)
CHAINLIST[Chime1 ].
CSV
Are you sure?
EXECUTE EXIT
```

<Memo>:セーブ後、次項「チェーンプレイ・リストのロード」の操作(1)~(2)を実行することで、セーブされたリストが確認できます。

## チェーンプレイ・リストのロード

セーブしたチェーンプレイ・リストを呼び出します。

<注意>:プレイ・リストのロードは、リストがセーブされているフォルダーのオーディオ・ファイルが立ち上がっている状態でのみ可能です。

- (1) 停止状態で[ENTER]キーを押してMENUモードへ入ります。初めてMENUモードへ入ると下記画面を表示します。

```
MENU▶
SYSTEM SETUP ▶
PLAY SETUP ▶
STORAGE UTILITY▶
FILE SEL ▶
STORAGE SEL ▶
MIC IN SETUP ▶
```

- (2) [MENU] ダイアルで“CHAIN LIST LOAD”を選択して[ENTER]キーを押します。セーブされているファイル・リストの画面に変わります。下記例は、一つのリストがセーブされている状態の画面です。

```
MENU▶
STORAGE SEL ▶
MIC IN SETUP ▶
CHAIN PLAY SET ▶
◀CHAIN LIST LOAD▶
CHAIN LIST SAVE▶
TIMER PLAY SET ▶
```

```
MENU▶LIST LOAD
-Select chain list-
001 CHAINLISTChime1.
```

<Memo>:複数のリストがセーブされている場合は下記例のようにすべてのリストが表示され、任意に選択することができます。

```
MENU▶LIST LOAD
-Select chain list-
001 CHAINLISTChime1.
002 CHAINLISTChime2.
003 CHAINLISTChime3.
```

- (3) [MENU] ダイアルでロードするリストを選択して[ENTER]キーを押します。チェーンプレイ・リストが上書きされることを警告する画面に変わります。ロードを中止するには“EXIT”が反転している状態で[ENTER]キーを押してください。

```
MENU▶LIST LOAD
--CAUTION--
If you load chain li
st file,current list
file is overwritten!
Are you sure?
EXECUTE EXIT
```

- (4) [MENU] ダイアル、または [◀◀] キーを使って、“EXECUTE”を反転させた後[ENTER]キーを押します。一瞬“COMPLETED!”が点灯してロードが完了し、MENUモードに入る前のHome画面に変わります。

## 拡張されたその他の機能

前ページまで記載した変更 / 拡張以外に、以下の機能が拡張されています。

### チェンプレイ・リスト設定時における、デジタル・スクラブ機能を拡張

取扱説明書・本文の49ページに記載している「デジタル・スクラブ機能で微調整する」において、チェンプレイ・リストに登録されたファイルのスタート/エンド時間を微調整する場合の下記機能を拡張しました。

- (1) デジタル・スクラブが可能な画面を表示している状態で [PLAY] キーを押すと、スタート位置先頭から約 1.5 秒間（またはエンド位置手前の約 1.5 秒間）の「プレビュー再生」を実行します。
- (2) 同じくデジタル・スクラブが可能な画面を表示している状態で [◀◀] キーを押していくと、表示している波形を最大 16 倍（2、4、8、16）まで拡大でき、[▶▶] キーを押していくと縮小できます。



**<注意>**：この機能が拡張されたことによって、[◀◀] キー / [▶▶] キーでのデジタル・スクラブ（波形の移動）は機能しなくなり、[MENU] ダイアルのみで操作が可能です。

### ネーム入力時における本体キーでのバックスペース/スペースインサート機能

MENU モードにおけるファイル・ネームなどの入力時、一旦入力した文字の削除などは別途本機に接続する USB キーボードでのみ可能でしたが、これらの機能が UR-2 本体の操作キー（[SHIFT] キーと [◀◀] キー / [▶▶] キー）で行えるようになりました。

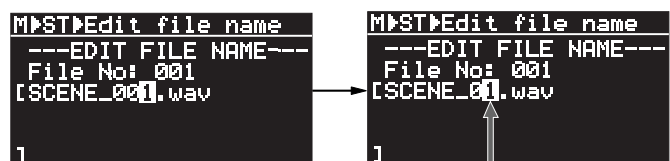
すでに本書 4 ページで具体的な操作方法を記載していますが、下記説明も合わせてお読みください。

下記操作例は、MENU モードの“SYSTEM SETUP”にある“Edit file name”メニューで、ファイル・ネームの編集画面が表示されていることを前提に記載しています。



カーソル位置（点滅）

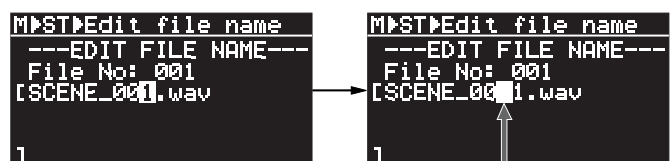
- (例1): [SHIFT] キーを押しながら [◀◀] キーを押す  
カーソルの左にある文字 / 数字を削除します。



カーソル位置（点滅）

<b>カーソルを左右に移動する</b>
[◀◀] キー / [▶▶] キーを押します。
<b>文字 / 記号などを入力する</b>
カーソル位置で [MENU] ダイアルを操作します。
<b>カーソルの左の文字を消去する</b>
[SHIFT] キーを押しながら [◀◀] キーを押します。
<b>カーソルの位置にスペースをインサートする</b>
[SHIFT] キーを押しながら [▶▶] キーを押します。

- (例2): [SHIFT] キーを押しながら [▶▶] キーを押す  
カーソル位置にスペースを作ります。



カーソル位置（点滅）

## RS232C コマンドを追加

本機の [RS232C] 端子を使いコンピュータから本機を制御する際用いる「RS232Cコマンド」に、新たなコマンドが追加され下記表のようになりました。RS232Cによる制御については、取扱説明書・本文の63ページを参照してください。

### < 動作キー関連 >

	ASCII (空白はスペース)													HEX																				
	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX		
REC		C	R	E	C									3	D		02	63	52	45	43	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	44	03
STOP		C	S	T	P									5	A		02	63	53	54	50	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	41	03
PLAY		C	P	L	Y									5	8		02	63	50	4C	59	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	38	03
REW		C	R	E	W									5	1		02	63	52	45	57	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	31	03
FFWD		C	F	W	D									4	4		02	63	46	57	44	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	34	03
SKIP<<		C	S	K	+									2	C		02	63	53	4B	2B	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	34	43	03
SKIP>>		C	S	K	-									2	E		02	63	53	4B	2D	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	32	45	03
ABS 0		C	A	B	O									1	6		02	63	41	42	30	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	31	36	03
REC END		C	R	E	D									3	E		02	63	52	45	44	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	45	03
LOAD FILE		C	L	D	F	X	X	X						X	X		02	63	4C	44	46	x	x	x	20	20	20	20	20	20	x	x	03	
LOCATE		C	L	O	C	H	H	M	M	S	S	F	F	X	X		02	63	4C	4F	43	h	h	m	m	s	s	f	f	x	x	03		

### < 10 キー関連 >

	ASCII (空白はスペース)													HEX																			
	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	
0		C	K	Y	0									3	7		02	63	4B	59	30	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	37	03
1		C	K	Y	1									3	8		02	63	4B	59	31	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	38	03
2		C	K	Y	2									3	9		02	63	4B	59	32	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	39	03
3		C	K	Y	3									3	A		02	63	4B	59	33	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	41	03
4		C	K	Y	4									3	B		02	63	4B	59	34	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	42	03
5		C	K	Y	5									3	C		02	63	4B	59	35	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	43	03
6		C	K	Y	6									3	D		02	63	4B	59	36	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	44	03
7		C	K	Y	7									3	E		02	63	4B	59	37	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	45	03
8		C	K	Y	8									3	F		02	63	4B	59	38	20	20	20	20	20	20	20	20	20	33	46	03
9		C	K	Y	9									4	0		02	63	4B	59	39	20	20	20	20	20	20	20	20	20	34	30	03
10+		C	K	0	+									0	9		02	63	4B	30	2B	20	20	20	20	20	20	20	20	20	30	39	03

### < 受信回答 >

	ASCII (空白はスペース)													HEX																			
	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	
正常受信		r	S	T	P									6	9		02	72	53	54	50	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	39	03
リポート不可		S	R	N	G									5	A		02	73	52	4E	47	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	41	03
エラー		r	E	R	R									5	B		02	72	45	52	52	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	42	03
エラー(BUSY)		r	B	G	Y									5	4		02	72	42	47	59	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	34	03

### < モード設定 >

	ASCII (空白はスペース)													HEX																			
	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	
REC RDY ON		C	R	D	Y	O	N							A	F		02	63	52	44	59	4F	4E	20	20	20	20	20	20	20	41	46	03
REC RDY OFF		C	R	D	Y	O	F	F						C	D		02	63	52	44	59	4F	46	46	20	20	20	20	20	20	39	43	44

### < ステータス要求および返答 >

	ASCII (空白はスペース)													HEX																			
	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	STX	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	CHK	CHK	ETX	
FILE STATUS		S	F	I	L									4	E		02	73	46	49	4C	20	20	20	20	20	20	20	20	20	34	45	03
返答		r	N	N	N	(FILE NAME MAX 8CHAR)								X	X		02	72	n	n	n	(file name max 8char.)							x	x			
FILE TIME		S	F	T	M									5	A		02	73	46	54	4D	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	41	03
返答		r	F	T	M	H	H	M	M	S	S	F	F	X	X		02	72	46	54	4D	h	h	m	m	s	s	f	f	x	x	03	
DISK REMAIN TIME		S	D	R	M									4	4		02	73	44	52	4D	20	20	20	20	20	20	20	20	20	35	36	03
返答		r	D	R	M	H	H	H	H	M	M	S	S	X	X		02	72	44	52	4D	h	h	h	h	m	m	s	s	x	x	03	

**Fostex**

フォステクス カンパニー

国内営業グループ

196-0021 東京都昭島市武蔵野 3-2-35

ホームページ <http://www.fostex.jp>

042-546-6355 FAX. 042-546-6067